

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】令和 6 年 10 月 29 日(2024.10.29)

【公開番号】特開 2024-54392(P2024-54392A)
【公開日】令和 6 年 4 月 16 日(2024.4.16)
【年通号数】公開公報(特許)2024-070
【出願番号】特願 2024-25597(P2024-25597)
【国際特許分類】

H 0 4 N 19/12(2014.01)

10

H 0 4 N 19/176(2014.01)

H 0 4 N 19/159(2014.01)

【F I】

H 0 4 N 19/12

H 0 4 N 19/176

H 0 4 N 19/159

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 10 月 21 日(2024.10.21)

【手続補正 1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

プロセッサが実行する映像復号のための方法であって、

映像データを受信するステップと、

前記映像データに対応する複数の変換カーネルを特定するステップであり、該複数の変換カーネルは、少なくとも一方が線グラフ変換(LGT)である垂直変換タイプと水平変換タイプとを含む複数ペアの変換タイプを有する、ステップと、

30

前記複数の変換カーネルの中から 1 つ以上の変換カーネルを選択するステップと、

選択された前記 1 つ以上の変換カーネルに基づいて前記映像データを復号するステップと、

を有する方法。

【請求項 2】

前記 1 つ以上の変換カーネルは、エンコーダ及びデコーダの双方に利用可能なコーディングされた情報に基づいて選択される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記 1 つ以上の変換カーネルは、前記映像データに関連するイントラ予測モード及びブロックサイズの両方に基づいて選択される、請求項 1 に記載の方法。

40

【請求項 4】

前記 1 つ以上の変換カーネルは、DC、SMOOTH、SMOOTH_H、SMOOTH_V、V_PRED、H_PRED、chroma-from-luma、及びPaethモードのうちの 1 つ以上のイントラ予測モードに基づいて選択される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記 1 つ以上の変換カーネルを選択することは、

再帰フィルタリングモード及びDCモードでは、同じ変換タイプを選択すること、

再帰フィルタリングモード及びSMOOTHモードでは、同じ変換タイプを選択する

50

こと、

S M O O T Hモード、S M O O T H _ Hモード、及びS M O O T H _ Vモードでは、同じ変換タイプを選択すること、

S M O O T Hモード、S M O O T H _ Hモード、S M O O T H _ Vモード、及びP a e t hモードでは、同じ変換タイプを選択すること、

再帰フィルタリングモード、S M O O T Hモード、及びP a e t hモードでは、同じ変換タイプを選択すること、

V _ P R E Dモード及びS M O O T H _ Vモードでは、同じ変換タイプを選択すること、

H _ P R E Dモード及びS M O O T H _ Hモードでは、同じ変換タイプを選択すること、 10

c h r o m a - f r o m - l u m aモード及びD Cモードでは、同じ変換タイプを選択すること、又は

c h r o m a - f r o m - l u m aモード及びS M O O T Hモードでは、同じ変換タイプを選択すること、

のうちの少なくとも1つを有する、請求項4に記載の方法。

【請求項6】

前記1つ以上の変換カーネルは、前記映像データに関連するビットストリーム内でシグナリングされるシンタックス要素によって明示的に特定される、請求項1に記載の方法。

【請求項7】

全てのイントラ予測モードに対して明示的な変換スキームが適用される、請求項1に記載の方法。

【請求項8】

異なるイントラ予測モードでは変換候補の数が異なる、請求項7に記載の方法。

【請求項9】

イントラ予測モードのサブセットに対して明示的な変換スキームが使用される、請求項1に記載の方法。

【請求項10】

前記1つ以上の変換カーネルは、ハイレベルシンタックスでの又はブロックレベルでのシグナリングに基づいて、明示的と黙示的との間で切り換えられる、請求項1に記載の方法。 30

【請求項11】

コンピュータプログラムを格納した1つ以上のメモリと、

1つ以上のプロセッサと、

を有し、

前記コンピュータプログラムは、前記1つ以上のプロセッサに、請求項1乃至10のいずれか一項に記載の方法を実行させる、

コンピュータシステム。

【請求項12】

コンピュータに請求項1乃至10のいずれか一項に記載の方法を実行させるコンピュータプログラム。 40